

令和 5 年 6 月吉日

言語聴覚士の先生各位

社会福祉法人東京援護協会
東京高次脳機能障害者支援ホーム
施設長 相良宏司
言語聴覚士 小堀香織

「失語症のある方のためのサポートカード（仮称）」の作成について（ご協力をお願い）

拝啓 薄暑の候、先生方におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、突然書状を差し上げる失礼をお許してください。私は、言語聴覚士の小堀香織と申します。平成 11 年に言語聴覚士の資格を取得し、平成 26 年より上記施設に勤務しており、今年で 10 年目になります。当初は非常勤で勤務しておりましたが、現在では常勤で勤務しております。

施設の特性上、全般的な精神機能および身体機能としては自立されているものの、意思疎通が非常に難しい若い失語症のある利用者の方々の社会復帰の支援をさせて頂くことが多く、施設を退所された後の生活の中で、意思伝達に窮する場面への支援方法について、自己流で試行錯誤しながら日々苦慮しております。とりわけ、職場あるいは作業所への移動のプロセスの中で、コミュニケーション面での様々な困りごとがあることが分かりました。

そのような折、このたび、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団様のご支援のもと、公益財団法人共用品推進機構と共同で失語症の方のコミュニケーション代償・補助手段について開発・公開させていただけるご縁に恵まれました。

失語症のある方へのコミュニケーションを助けるためのカードなどの代償・補助手段については、すでに多くの先生方がご工夫なさっていらっしゃいますので、さらに屋上屋を重ねるようなことになるのではないかと、最初は逡巡いたしました。この機会に、これまでの諸先生方の知見を共有させていただき、汎用性の高いものが考案できれば、当事者の方々にとって資するところが大きいのではないかと思います。さらに、ツールの作成工程を半自動化することができれば、これまで、都度の対応をなさってこられた先生方の日々の業務の効率化にもつながるのではないかと思います。謹んでこのご縁を活用させていただこうと決心いたしました。

つきましては、業務ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、下記の URL から「失語症のある方へのサポートカードに関するアンケート」にご回答賜りたく、お願い申し上げます。

ます。

末筆になりましたが、先生方のご健康とご担当なさっている患者様・利用者様のお幸せをお祈り申し上げます。

敬具

記

アンケートの概要

1. 背景

失語症のある方向けのコミュニケーション代償・補助手段（以下、ツール）は、すでに多くの先生方の成果があり、都道府県士会のホームページや友の会の会報などを通じて公開されていますが、仕様や内容もさまざまであり、その素晴らしい知見が広く共有されていないという印象を受けます。また、失語症は個別性のみならず社会性の高い障害であることから、「既製品」化することが難しく、それぞれの先生方が、個々の患者さんの症状・生活背景・地域性などを勘案し、都度手作りをなさっていると思われます。それは、とても手間と時間のかかる作業であることが想像に難くありません。

さらに、苦勞して作成したツールが、思いのほか活用されていない、などという事例もご経験なさっているのではないのでしょうか。

今回はまず、公共交通機関を利用することに場面を限り、失語症のある方がどこでどのような困りごとに遭遇することが多いのかを調査し、それに対して「サポートカード(仮)」の形でサポートできないかと考えました。

万能ツールを作成することは不可能ですが、少しでも多くの先生方からのご教示を賜り、実際に活用しやすく、汎用性のある物にしていきたいと考えています。今回のプロジェクトが奏効すれば、将来的には公共交通機関に限らず、さまざまな場面のコミュニケーション代償手段として汎化・発展させることも考えております。

SDGs の前文にあります「だれひとり取り残さない」を、言語聴覚士の立場から少しでも体現できればと考えております。

つきましては、ご経験豊富な ST の先生方に幅広くご意見を頂戴できればと存じます。皆様方のご協力を是非ともお願い申し上げます。

2. アンケート 以下の QR コード、または URL からご回答をお願い申し上げます。



<https://forms.gle/hXZtncXoqcrCRwLZ8>

3. ご協力の承諾と個人情報の取り扱いについて

アンケートフォーム冒頭の「このプロジェクトの趣旨を理解しアンケート調査に協力します」にチェックしていただいたことで、ご協力をご承諾いただいたものとさせていただきます。なお、匿名でのご回答をご希望の先生方のために、ご所属先とご芳名欄は任意といたしました。

ご所属先とご芳名をご記入いただいた先生方におかれましては、ツール完成後、開発協力者としてクレジットさせていただきたく存じます。なお、公表をご希望なされない先生におかれましては、「ツール完成後協力者として公表する」の項目において「希望しない」へのチェックをお願いいたします。

なお本調査以外の目的で個人情報を使用することはなく、データの取扱いの際には細心の注意を払い、知りえた内容は個人が特定できない形で報告書にまとめ、広く活用させていただきますことご容赦ください。

4. 開発関係者（COI）

1) 公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

役割：研究費補助、完成品管理

2) 公益財団法人 共用品推進機構

役割：マネジメント

3) 株式会社 アイ・デザイン

役割：カードデザイン

4) 市川高次脳機能障害相談室 主宰

言語聴覚士 小嶋 知幸

役割：アドバイザー

5) 社会福祉法人東京援護協会 東京高次脳機能障害者支援ホーム

自立訓練係 言語聴覚士 小堀香織

役割：作成責任者

以上

(問い合わせ先)

東京高次脳機能障害者支援ホーム HiBDy.Tokyo

自立訓練係 小堀香織

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-3-32

TEL 042-497-3980

nerima-jiritsu@basil.ocn.ne.jp